

日興FWS・新興国株インデックス (為替ヘッジあり)

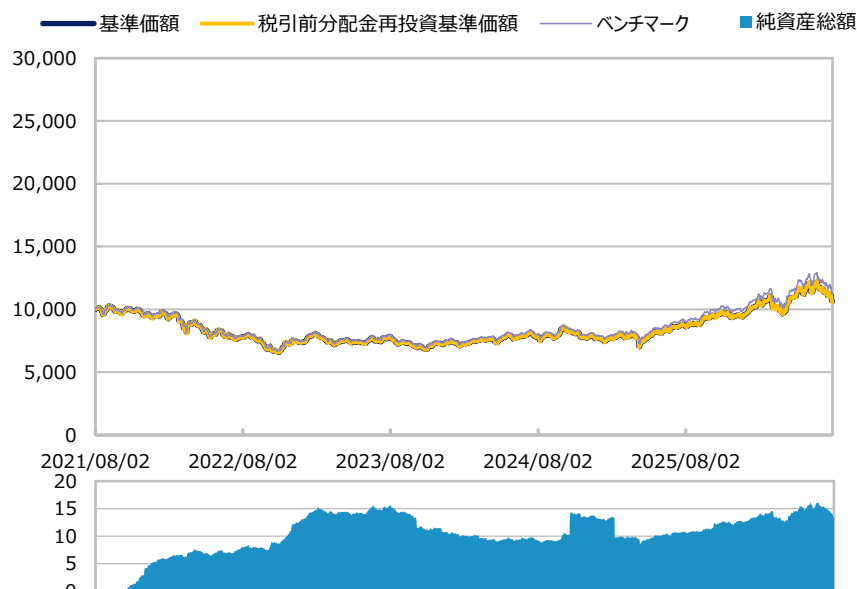
追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2026年07月31日

ファンド設定日：2021年08月03日

日経新聞掲載名：N S 興株イ有

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ベンチマークは、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドル円ヘッジ換算ベース）です。ファンド設定日前営業日を10,000とした指数を使用しています。詳細は後述の「ベンチマークに関する注意事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末
基準価額（円）	10,641
純資産総額（百万円）	1,342.1

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	2026/06/30	-8.24	-8.30
3ヵ月	2026/04/30	-3.23	-3.36
6ヵ月	2026/01/30	-0.12	0.10
1年	2025/07/31	22.10	23.09
3年	2023/07/31	35.18	40.07
5年	-	-	-
設定来	2021/08/03	6.41	12.24

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2022/08/01	0
第2期	2023/07/31	0
第3期	2024/07/31	0
第4期	2025/07/31	0
第5期	2026/07/31	0
設定来		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

※ 決算日は、毎年7月31日（休業日の場合は、翌営業日）です。

資産構成比率（％）

	当月末
組入マザーファンド	99.5
現金等	0.5
合計	100.0

為替ヘッジ比率

- ※ 組入マザーファンドの正式名称は「エマージング株式インデックス・マザーファンド」です。
- ※ 為替ヘッジ比率は、為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

日興FWS・新興国株インデックス (為替ヘッジなし)

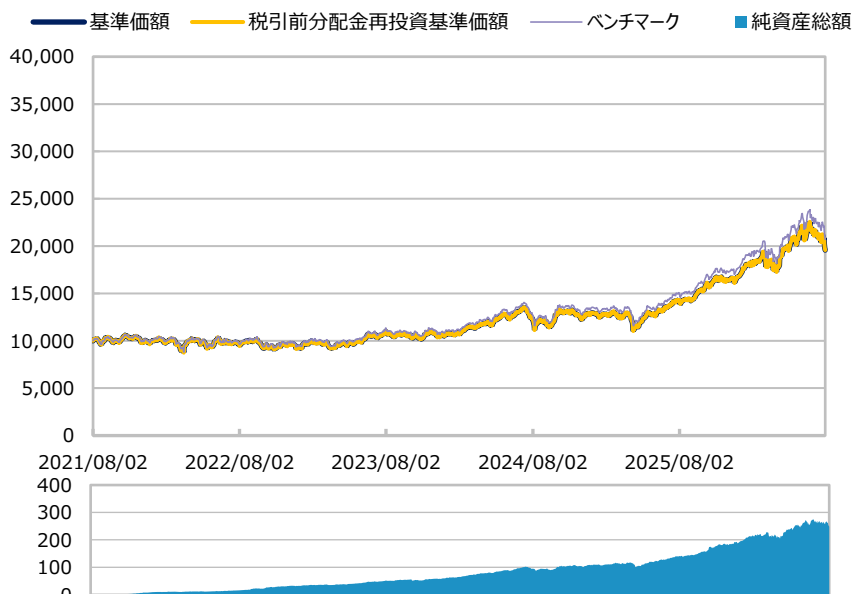
追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2026年07月31日

ファンド設定日：2021年08月03日

日経新聞掲載名：N S 興株イ無

基準価額・純資産総額の推移 (円・億円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ベンチマークは、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。ファンド設定日前営業日を10,000とした指数を使用しています。詳細は後述の「ベンチマークに関する注意事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末
基準価額 (円)	19,575
純資産総額 (百万円)	24,802.0

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	2026/06/30	-8.85	-9.09
3ヵ月	2026/04/30	-2.12	-2.45
6ヵ月	2026/01/30	6.62	6.55
1年	2025/07/31	36.96	37.34
3年	2023/07/31	79.54	85.00
5年	-	-	-
設定来	2021/08/03	95.75	106.93

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第1期	2022/08/01	0
第2期	2023/07/31	0
第3期	2024/07/31	0
第4期	2025/07/31	0
第5期	2026/07/31	0
設定来		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

※ 決算日は、毎年7月31日（休業日の場合は、翌営業日）です。

資産構成比率 (%)

	当月末
組入マザーファンド	100.1
現金等	-0.1
合計	100.0

※ 組入マザーファンドの正式名称は「エマージング株式インデックス・マザーファンド」です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

日興FWS・新興国株インデックス
(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2026年07月31日

※ このページは「エマージング株式インデックス・マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率 (%)

	当月末
株式	91.9
先物等	8.2
現金等	-0.1
合計	100.0

組入上位10カ国・地域 (%)

	当月末	
1 台湾	23.5	23.5
2 韓国	16.3	16.3
3 インド	11.4	11.4
4 ケイマン諸島	11.1	11.1
5 中国	5.8	5.8
6 アメリカ	4.8	4.8
7 香港	4.3	4.3
8 ブラジル	3.5	3.5
9 南アフリカ	2.6	2.6
10 メキシコ	1.7	1.7

組入上位10通貨 (%)

	当月末	
1 台湾ドル	23.8	23.8
2 香港ドル	16.7	16.7
3 韓国ウォン	16.3	16.3
4 インドルピー	11.4	11.4
5 アメリカドル	6.2	6.2
6 ブラジルレアル	3.5	3.5
7 中国元(オフショア)	3.5	3.5
8 南アフリカランド	3.0	3.0
9 メキシコペソ	1.7	1.7
10 ポーランドズロチ	1.1	1.1

組入上位10業種 (%)

	当月末	
1 半導体・半導体製造装置	20.8	20.8
2 テクノロジ・ハードウェア・機器	11.9	11.9
3 銀行	11.7	11.7
4 その他	8.6	8.6
5 素材	4.7	4.7
6 メディア・娯楽	4.3	4.3
7 資本財	4.1	4.1
8 一般消費財・サービス流通・小売り	3.6	3.6
9 エネルギー	2.8	2.8
10 自動車・自動車部品	2.4	2.4

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 706)

銘柄名	国・地域	業種	比率
1 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	半導体・半導体製造装置	13.7
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジ・ハードウェア・機器	5.5
3 SK HYNIX INC	韓国	半導体・半導体製造装置	4.2
4 CHINAAMC ETF SERIES - CH-CNY	香港	その他	3.5
5 TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	メディア・娯楽	3.0
6 ISHRS MSCI SAUDI ARABIA ETF	アメリカ	その他	2.4
7 ALIBABA GROUP HOLDING LTD	ケイマン諸島	一般消費財・サービス流通・小売り	2.0
8 MEDIATEK INC	台湾	半導体・半導体製造装置	1.2
9 ISHARES MSCI UAE ETF	アメリカ	その他	1.1
10 CHINA CONSTRUCTION BANK-H	中国	銀行	0.8

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

日興FWS・新興国株インデックス (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2026年07月31日

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

7月の新興国株式市場は下落しました。

米国株式市場は前月末と比較して概ね横ばいとなりました。AI関連市場の成長鈍化に対する警戒感などが、上値を抑えました。一方、4-6月期の企業業績が総じて堅調を維持したことが下支えとなり、月末近くには市場全般に持ち直しました。

新興国株式市場は下落しました。アジアの新興国市場では、香港などが上昇した一方、韓国や台湾などが下落しました。香港市場では、一部のアジア株式市場と比較して相対的に出遅れていたことや、デリバリー事業の利益率改善への期待が高まったことなどから、中国の電子商取引大手などが堅調に推移しました。また、中国当局による景気支援策への期待が高まったことなども好感されました。その他の市場では、AI関連製品への需要に対する懸念が高まったことなどから、半導体大手などを主導に韓国が大きく下落しました。また、世界的に半導体関連銘柄が売られる中、堅調な業績を背景とした成長期待が株価に相当程度織り込まれていた関連銘柄の調整により、台湾も大きく下落しました。一方、決算を受けて業績への安心感が広がったことなどから、大手ソフトウェア企業などが堅調に推移したインドは上昇しました。アジア以外の地域では、CPI（消費者物価指数）の低下を受けて、利下げ期待が高まったブラジルなどが上昇しました。

※各国の上昇下落のコメントはMSCI指数、ローカル通貨をベースに記載しています。

＜市場見通し＞

世界の株式市場は、トランプ大統領が中間選挙に向けて強硬的な対外政策を続ける可能性があり、地政学リスクが依然残っていることや、一部に割高感がみられることから、上値の重い展開が見込まれます。ただし、米国の企業業績は堅調な推移が今後も続くともみられ、徐々にレンジを切り上げる展開を予想します。

新興国株式市場は、利下げによる景気回復期待に加えて、AIの浸透が中長期的に経済成長や企業収益の改善につながるとの期待を背景にテクノロジー産業への投資や生産が拡大していることから、底堅い推移が見込まれます。トランプ政権の各種政策や、欧米と中国の通商問題、中東や東アジアなどの地政学リスクの不透明感は残りますが、グローバル投資家の米国株離れに伴う投資資金流入なども期待されることから、新興国株式を取り巻く投資環境、投資家センチメント（心理）は徐々に改善すると思われます。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

日興FWS・新興国株インデックス (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2026年07月31日

ファンドの特色

為替ヘッジあり

- マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の株式*、新興国の株式指数を対象とした先物取引および新興国の株式等を対象とする上場投資信託証券（ETF）に投資し、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。
 - * 預託証書（DR）、株式の値動きに連動する有価証券等を含みます。
 - ※ ファンドの資産規模、市況動向に応じて株式、株価指数先物取引、上場投資信託証券（ETF）、短期公社債等および為替取引を組み合わせて運用を行います。
- 実質組入外貨建資産については、原則として米ドル売り円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。
 - ※ 米ドル建て以外の通貨建資産については、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けます。

為替ヘッジなし

- マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の株式*、新興国の株式指数を対象とした先物取引および新興国の株式等を対象とする上場投資信託証券（ETF）に投資し、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。
 - * 預託証書（DR）、株式の値動きに連動する有価証券等を含みます。
 - ※ ファンドの資産規模、市況動向に応じて株式、株価指数先物取引、上場投資信託証券（ETF）、短期公社債等および為替取引を組み合わせて運用を行います。
- 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - ※ 基準価額は為替変動の影響を受けます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

■ 株式市場リスク

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

（限定為替ヘッジ）

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。新興国株インデックスヘッジ有については、外貨建資産とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行います。したがって、米ドル建て資産については、為替の変動による影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。また、実質的な通貨配分にかかわらず、米ドル売り円買いの為替取引を行うため、米ドル以外の組入通貨については、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けます。なお、円金利が米ドルの金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。

（為替ヘッジなし）

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

日興FWS・新興国株インデックス (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2026年07月31日

投資リスク

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

■ 流動性リスク

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。

これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

なお、海外の取引所によっては、長期間にわたる個別銘柄の売買停止措置がとられることがあり、そのような場合には一般社団法人資産運用業協会規則もしくは委託会社の社内ルールに従って、当該有価証券の評価を行います。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがいさかった場合も同様です。

〔対象インデックスの動きと連動しない要因〕

ファンドは、特定の指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いますが、以下の要因等により、対象インデックスの動きに連動しないことがあります。

- 有価証券売買時のコスト、信託報酬やその他のファンド運営にかかる費用を負担すること
- 追加設定・一部解約により組入有価証券の売買のタイミング差が生じること
- インデックス構成銘柄と組入有価証券との誤差が影響すること
- 利用可能な指数先物と対象インデックスの動きに不一致が生じること

〔外国税制に関する留意点〕

- 投資対象国によっては、有価証券の売買を行う際の売買益等に対して課税される場合があります。将来、これらの税率や課税方法が変更された場合、または新たな税制が適用された場合、基準価額に影響を及ぼすことがあります。
- 当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用するため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・一部解約により資金の流入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。
- ファンドのお申込みに関しては、クーリング・オフ制度の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。



日興FWS・新興国株インデックス (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2026年07月31日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- ロンドンの取引所の休業日
- 香港の取引所の休業日

信託期間

無期限（2021年8月3日設定）

決算日

毎年7月31日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

年1回決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。（委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。）

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。



日興FWS・新興国株インデックス (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2026年07月31日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
ありません。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に以下の率を乗じた額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。
なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日と毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
＜信託報酬率およびその配分＞

ファンド名	信託報酬率	配分(税抜き)		
		委託会社	販売会社	受託会社
新興国株インデックスヘッジ有	年0.165% (税抜き0.15%)	年0.10%	年0.03%	年0.02%
新興国株インデックスヘッジ無				

- ※ 上記の配分には別途消費税等相当額がかかります。
- ※ ETFに投資する際はETFにかかる運用管理費用がかかります。

支払先	役務の内容
委託会社	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価
販売会社	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等 - ※ 上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

日興FWS・新興国株インデックス (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2026年07月31日

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）時及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ：https://www.smd-am.co.jp コールセンター：0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

日興FWS・新興国株インデックス (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2026年07月31日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	金融商品取引業協会	一般社団法人第一種資産運用業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人日本STO協会	備考
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○	○	※1
株式会社SBI新生銀行（SBI証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※1 ※2

備考欄について

※1：「日興FWS・新興国株インデックス（為替ヘッジなし）」のみのお取り扱いとなります。

※2：委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券

ベンチマークに関する注意事項

- MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドル円ヘッジ換算ベース／円換算ベース）は、MSCI INC. が公表する指数（MSCI エマージング・マーケット・インデックス）を基に委託会社が換算したものです。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.